

プログラム名 (40字以内)	野宿学(雪国編)「雪国でイグルーを自作して一晩過ごしてみよう」		
団体名/所属	小淵祐介研究室 建築学専攻		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	自動抽選
募集人数	8人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	アウトドアのライフスタイルに関心があり、寒さを楽しんだり体験したい人向け		
活動期間	2026/2月中旬、2泊3日	主な活動予定場所	長野県飯山市 戸狩温泉
プログラム実施の目的	雪国の生活環境に触れると共に、自然の資源や環境問題に対する考えを深める		
具体的な内容(800字程度)	野宿学とは、本企画を立ち上げる為に提案された小淵祐介研究室で進めているDIY研究の造語で、設備の整った建物の中で宿を取るのではなく、自 分 の力もしくは共同体で一晩過ごす場所を創ること、または野宿の可能性について考えることを目的とする。大雑把に言ってしまうと、アウトドアキャンピングを市場原理のレジャーやライフスタイルとしてだけに位置付けるのではなく、持続的 社会に向けた最小限の生活環境のあり方を自分の手で作って みることで、抽象的に捉えられがちなカーボンニュートラル社会の実 現を体験をもとに模索することを目指す。 本企画のメインのイグルーとは、カナダ北部や北極圏に住むイヌイット族でよく知られている、圧雪ブロックをドーム状に積んで作る 伝統的な移動式住居のこと。テントのような複数種類の部材による構築物と違い、移動中の場所で採れた雪を建材として使う。ま た、移動後に取り残されたイグルーは放置しておけば水に戻る、といった最もシンプルで環境負荷の低い環境的資源循環型住居と いっても過言ではない。また、実際に体験してみないと信じ難い事だが、圧雪ブロックは氷と違い小さな気泡を多く含んでおり断熱性 に富んだ「建材」であり、室内空間は少しの暖房で外気と比べて暖かくすることができる。寒冷地ならではの生活の知恵が詰まった 生活空間である。 本企画は、長野県飯山市戸狩温泉スキー場の麓をベースに、1メートル以上の厚さの雪に覆われた広大な日本の原風景を見渡す 場で、地元の人たちの協力を得ながらイグルーを小淵祐介研究室(工学系研究科建築学専攻)の学生達と一緒に造り、実際に一晩 過ごしてみるワークショップです。 飯山市からのサポートを背景に、豪雪地帯における雪資源の活用をベースとした新しい観光モデルのあり方なども地元住民や 行 政の方々やディス カッションする予定です。ワークショップは2泊3日の予定。初日は、雪ブロックの切り出し方の練習、イグルー作 りの練習、深雪での屋外活動の準備 やイグルー設置場所の準備、2 日目はメインのイグルー作りと野宿体験、3日目はかんじきを 履いて深雪のハイキング、地元の方々との交流など。		
【総額】参加するための 費用	34,000円		
【内訳】参加するための費用 (宿泊費)	12,000円		
【内訳】参加するための 費用(交通費)	20,000円		
【内訳】参加するための 費用(その他)	2,000円(材料費)		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料の ダウンロードサイト	https://www.youtube.com/watch?v=hVRUQoFIHcA		
応募団体を紹介するウェブサイト 等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者 (応募団体)の参加の有無	参加する		